

重 要

**会員の皆様へ：
英文論文誌 RMB(Reproductive Medicine and Biology)
電子ジャーナル化について(経過報告)と
PC メールアドレスのご登録のお願い**

拝啓 日頃より日本受精着床学会ならびに Reproductive Medicine and Biology 誌へのご理解ご協力を賜りましてありがとうございます。ごさいます。

さて、日本生殖医学会、日本アンドロロジー学会、Asian Society of Endometriosis Adenomyosis(ASEA)と共同編集をしている Reproductive Medicine and Biology(RMB)につきまして、2017 年 1 月より電子ジャーナルとなり、Open Access 出版に移行いたします。その目的は PubMed Central に掲載されることで PubMed での検索が可能となることをめざし、より多くの方に閲覧引用していただくことです。Open Access 出版に必要な著者負担の論文出版費 (APC) に関しては当面の間、学会が負担することといたします。新しい電子投稿システムが 9 月 1 日より稼働いたしました。詳細は下記よりご確認くださいようお願い申し上げます。

<http://www.jsrm.or.jp/publications/rmb.html>

または

http://www.jsrm.or.jp/publications/rmb_announce01.html

投稿への入口

<https://mc.manuscriptcentral.com/repmedbio>

引き続き会員の皆様より一層の論文の投稿をいただけるようお願い申し上げます。

今後の導入スケジュールは、下記のように進めて参りますので、引き続き弊誌の活性化に会員諸先生方のご協力を賜りたく、ご支援のほどよろしくお願ひいたします。

また、近年電子メール一斉配信にて最新情報や重要なお案内もさせて頂くことが多くなりました。現在、約 8 割の会員の先生方には個人のパソコン用メールアドレス(PC メールアドレス)のご登録を頂戴しておりますが、PC メールアドレスのご登録を頂戴できていない、または携帯メールアドレスや、施設代表のメールアドレス等のご登録により、本会から発信する情報が行き届かない会員の先生方もいらっしゃいます。より等しく会員サービスをご提供させて頂きたいと存じます。以下の要領にて期日までに手続きをいただきますようお願い申し上げます。なお、ご登録がない場合は、サービスを提供できない場合もございますのでその旨予めご了承ください。

なお、引き続き最新情報は本会ホームページ上で随時ご案内申し上げます。今後ともご支援を賜りたく何卒宜しくお願ひ申し上げます。

敬具

記

<RMB 電子化> ※平成 28 年度日本生殖医学会定時社員総会審議内容より概要※

(現在)冊子体発刊で、編集事務(投稿～採否決定)を京都大学出版会、印刷～出版までをシュプリンガー・ジャパン、発送を杏林舎に委託

↓↓

(平成 28 年 1 月発刊の 1 号(Vol.16 No.1)より)

完全電子化に移行。業務委託についても Wiley JAPAN に一連の作業を一本化

Open Access 化により PubMed Central への掲載を可能にし、広く RMB を閲覧引用していただくことにより活性化を諮り、最終的に Impact Factor 取得を目指す

<PC メールアドレスのご登録について>

平成 28 年 11 月 30 日(水)までに未登録・携帯メールアドレスご登録・施設代表のメールアドレスご登録の方は以下の要領で変更手続きをお願いいたします。

本会ホームページ(<http://www.jsfj.jp/>): 各種手続→変更申請→各種変更届を事務局まで FAX(03-5425-1607)

または、ご登録いただく連絡のつく PC メールアドレスを jsfi@convex.co.jp までメールにてお知らせ下さいますようお願いいたします。

以上

日本受精着床学会

理事長 堤 治

常務理事(編集) 大須賀 稔 三谷 匡

常務理事(庶務) 柳田 薫 柴原 浩章